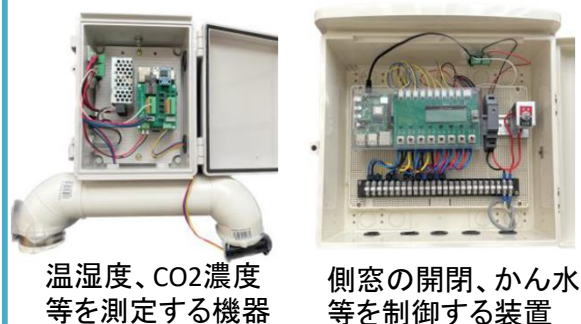


## 新技術を導入して施設園芸作物の安定生産・品質向上

## 道央農業協同組合 生産部会

## 環境制御装置の一例



## 【組織等の概要】

JA道央(江別市・北広島市・恵庭市・千歳市)

- 組織 : ミニトマト生産部会(24戸)  
長なす生産部会(13戸) ほか
- 主な出荷先 : 札幌市内及び近郊のスーパーのほか、札幌市にある市場を通じて関東方面へ出荷
- 連絡先TEL : (011)370-1611

## ◇【取組の経緯と概要】

- ◆ 地域においては、農業者の高齢化や離農地の引受けに伴う経営規模の拡大により、労働力の確保が課題となっている。
- ◆ また、資材価格の高騰等に対応するため、ミニトマトやなす等の施設園芸作物の導入・収益性の向上による農業経営の安定化が求められている。
- ◆ こうした中、「環境制御装置」を活用したスマート農業の導入により、労働力不足への対応に加え、収量向上と品質の安定化が図られている。

## 【取組の成果】

- ◆ 労働力不足と地球温暖化への対応  
⇒「環境制御技術」の導入により、農作業の省力化を図るとともに、適切な栽培環境の維持により安定生産と収量の向上を実現した。
- ◆ 施設園芸における室温の適正管理  
⇒自動的に室温を適切に管理することができ、生育の均一化や収量の安定化に加え、品質低下の原因となる朝露の発生を抑制できるようになった。
- ◆ 環境制御装置の導入コストの縮減  
⇒安価な機器(既存品の半額以下)を導入し、自ら基本キットを組み立てるなどコストを削減し、更にJAによる導入支援措置(補助上限10万円/台)により、農業者にとって導入費用の大幅な削減が実現した。  
このことで、ピーマン等の他品目への展開も進んでいる。

## &lt;ミニトマト&gt;

|     | 農家数<br>(戸) | 面積<br>(a) | 生産量<br>(t) | 平均単収<br>(t/10a) |
|-----|------------|-----------|------------|-----------------|
| R5年 | 21         | 200       | 82.5       | 4.12            |
| R7年 | 22         | 250       | 116.3      | 4.65            |

## &lt;長なす&gt;

|     | 農家数<br>(戸) | 面積<br>(a) | 生産量<br>(t) | 平均単収<br>(t/10a) |
|-----|------------|-----------|------------|-----------------|
| R5年 | 5          | 34        | 20.1       | 5.91            |
| R7年 | 9          | 56        | 35.1       | 6.27            |

## 【環境制御装置とは…】

作物にとって最適な環境を人工的に作る仕組みのことです。(スマート農業)

ハウス栽培(施設園芸)においては特に重要で、以下のような環境を調整します。

- ・温度、湿度、風量、換気の制御
- ・土壌水分、養分(養液)の管理

導入の効果としては、生育の安定化、収量・品質の向上、作業の省力化(自動化)、気候変動への対応などがあげられます。

## 【今後の展望】

- 農作業の省力化を進めながら、施設園芸作物の安定生産体制を確立し、地域の主要作物として契約取引の拡大や付加価値向上に向けた取組を強化する。
- あわせて、他品目の産地化・ブランド化を推進する。